

## 事前評価個表

整理番号	10
------	----

地域(地区)名	ちゅうぶさんかく 中部山岳	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長野県	対象市町村	まつもとし 松本市ほか12市町村
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	県、市町村、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北アルプスの長野県側に位置している。</p> <p>本地区の森林面積は236千ha（森林率79%）、対象民有林は134千ha（森林全体の57%）、うちカラマツ・アカマツを主体とする人工林は55千ha（人工林率43%）で、北部は広葉樹が多く存在している。</p> <p>戦後の拡大造林等により、森林の齢級構成は高齢級に偏りがみられ、間伐の対象となるⅢ齢級からⅪ齢級までの森林は、人工林全体の9割程を占めていることから、本計画に基づき、早急に間伐を行い、水源涵養・山地災害防止機能等の公益的機能の発揮とともに、効率的な木材の有効利用を推進するためにも適正な森林整備が必要である。</p> <p>本地区では、高性能林業機械の保有台数の増加や林業就労日数の長期化等がみられ、伐採した間伐材の利用率は60%と県内平均（44%）より高くなっているが、これは本地区で稼働し始めた木材加工施設（床材）や今後計画が進む木質バイオマス発電施設等への供給が課題となっていることもあり、地域森林計画に定める本事業実施期間内（5年間）の間伐は13千ha、人工造林650ha、天然更新は600haとしているところである。</p> <p>また、森林整備に必要な路網の整備を進めているが、林道密度は6.9m/haで、県計画に対する進捗率は約63%であり、今後の地域材の有効活用の観点からも、森林作業道等として一層整備を図る必要がある。</p> <p>素材の流通は、県下で最大規模の「長野県森林組合連合会中信木材センター」が設置され、同センターに集積されており、地元のみならず県内からも出材がある。今後、更なる地域材の流通拡大に対応するため、直材・曲材やそれぞれの用途に応じた供給体制の整備を進める必要がある。</p> <p>このような課題に対応するため、本事業により搬出間伐を主体とする森林整備及び必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,000ha 人工造林、樹下植栽、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：3,758m 林業専用道</p> <p>総事業費：7,889,800千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.05 (総便益(B) = 29,060,265千円、総費用(C) = 14,158,301千円)</p>
評価結果	<p>必要性：整備対象森林の状況、森林整備の緊急性等から当該計画の必要性は高いと判断される。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業を効率的に推進することにより公益的機能の発揮と木材の安定供給が図られ有効である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 長野県

地域(地区)名: 中部山岳<sup>ちゅうぶさんかく</sup>

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	5,659,091	
	流域貯水便益	2,536,289	
	水質浄化便益	5,914,145	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,853,241	
	土砂崩壊防止便益	989,828	
環境保全便益	炭素固定便益	365,338	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,589,401	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	152,932	
総 便 益 (B)		29,060,265	
総 費 用 (C)		14,158,301	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,060,265}{14,158,301} = 2.05$		

# 森林環境保全整備事業 中部山岳地域(長野県) 概要図

